



2026年7月12日の電力需給

全国

△ 全国合計需要ピーク
10,929万kW
18時30分、109,289 MW
(10エリア同時刻合計)

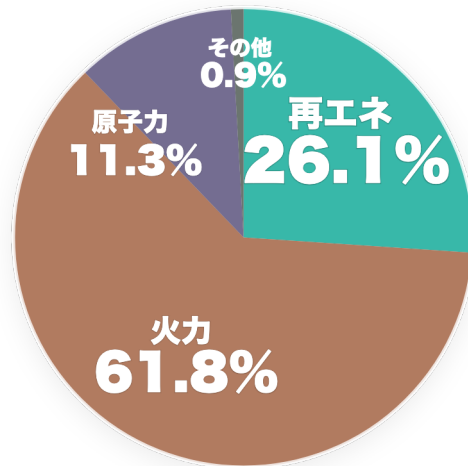
≈ 風力ピーク
179万kW
22時30分、1,789 MW

↔ 最大受電エリア
東京
111 GWh

☀ 太陽光ピーク
3,429万kW
11時、34,289 MW (自家消費分除く)

◇ 再エネ最大需要比
45.9%
10時30分、需要に対する割合

↔ 最大送電エリア
東北
71.3 GWh



概況

再エネ比率トップ
北海道 42.6%
35.0 GWh

揚水・蓄電の充電
58.7 GWh
発電構成比には含めない

出力抑制量
0.0 GWh
最大: 中部 0.0 GWh

日中の特徴
太陽光と夕方需要の時間差
多くのエリアで18-19時台に需要ピーク



- 需要ピークが最も大きかったのは東京で、19:00に3,504万kWでした。
- 再エネ比率は北海道が最も高く、発電電力量ベースで42.6%でした。
- 出力抑制は中部。

項目	値	補足
再エネ発電 量比率	26.1%	発電電力量ベース
再エネ発電 量	594 GWh	太陽光・水力・風力・バ イオマス・地熱
総発電電力 量	2,278 GWh	発電構成比の分母
再エネ最大 需要比	45.9%	10時30分
出力抑制量	0.0 GWh	最大: 中部
揚水・蓄電 の充電	58.7 GWh	発電構成比には含めない

エリア	再エネ比率	再エネ発電量 (GWh)	出力抑制 (GWh)	連系線・ その他 (GWh)
北海道	42.6%	35.0	0.0	送電 9.1
東北	30.5%	79.7	0.0	送電 71.3
東京	12.9%	79.3	0.0	受電 111
中部	34.0%	95.8	0.0	受電 39.9
北陸	37.8%	25.9	0.0	送電 2.0
関西	21.8%	73.3	0.0	受電 54.2
中国	31.8%	58.9	0.0	送電 22.3
四国	29.1%	34.5	0.0	送電 48.6
九州	35.9%	109	0.0	送電 31.2
沖縄	10.2%	2.8	0.0	—



2026年7月12日の供給実績

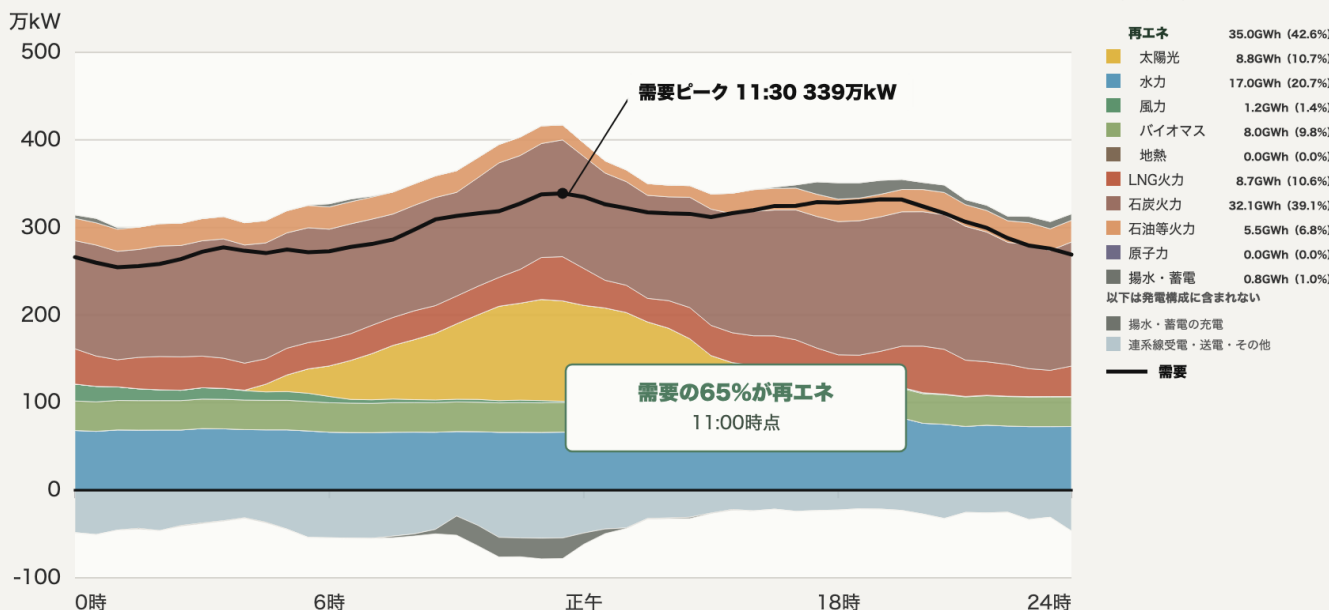
北海道エリア

再エネ

35.0GWh

(発電電力量ベース42.6%)

北海道エリア 2026年7月12日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北海道電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年7月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

82.0GWh

需要ピーク

11:30、339万kW

連系線・その他

9.1GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.9GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

北海道は、太陽光ピーク116万kW、風力ピーク19万kWで、時間別の再エネ最大需要比は65.9%だった。



2026年7月12日の供給実績

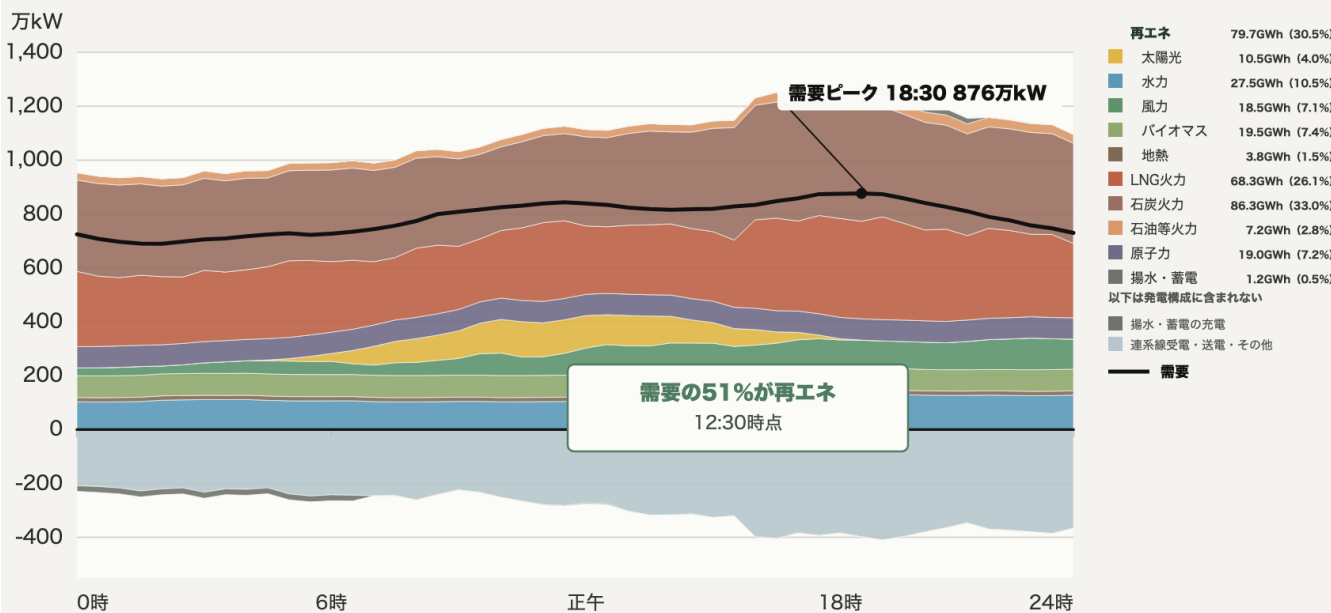
東北エリア

再エネ

79.7GWh

(発電電力量ベース30.5%)

東北エリア 2026年7月12日の供給実績（残余需要方式）



出典: 東北電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年7月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

261.7GWh

需要ピーク

18:30、876万kW

連系線・その他

71.3GWhの送電

揚水・蓄電の充電

1.6GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

東北は、太陽光ピーク131万kW、風力ピーク118万kWで、時間別の再エネ最大需要比は51.5%だった。



2026年7月12日の供給実績

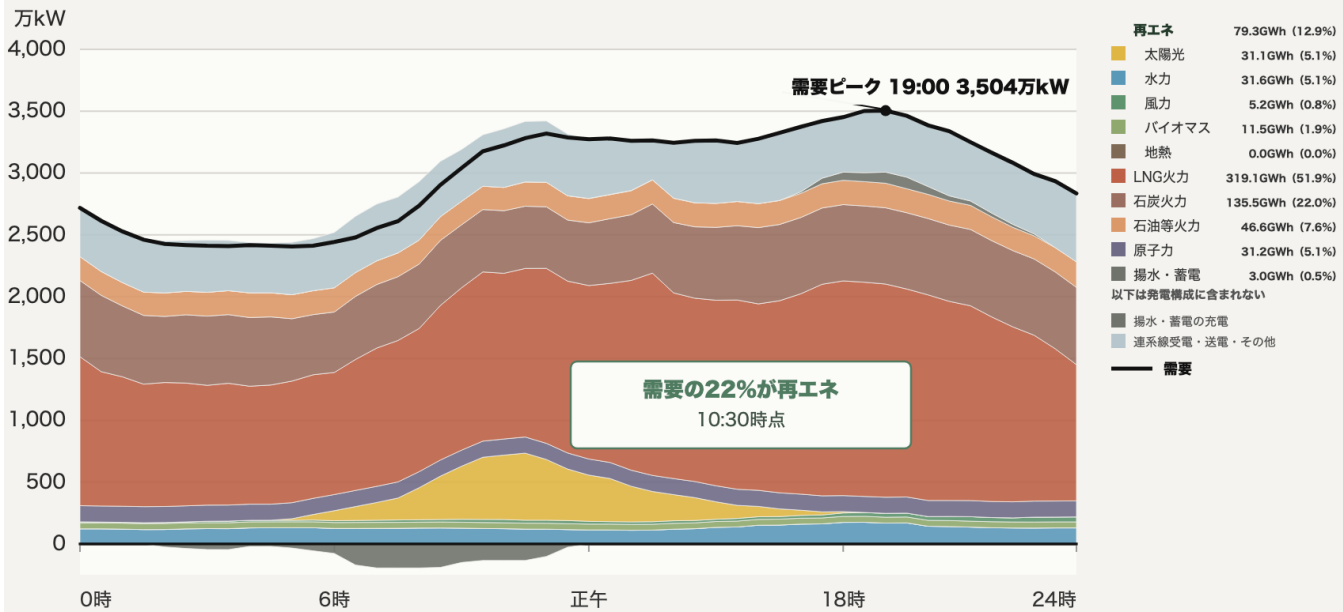
東京エリア

再エネ

79.3GWh

(発電電力量ベース12.9%)

東京エリア 2026年7月12日の供給実績（残余需要方式）



出典: 東京電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ (2026年7月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

614.7GWh

需要ピーク

19:00、3,504万kW

連系線・その他

110.5GWhの受電

揚水・蓄電の充電

9.9GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

東京は、太陽光ピーク542万kW、風力ピーク40万kWで、時間別の再エネ最大需要比は22.4%だった。



2026年7月12日の供給実績

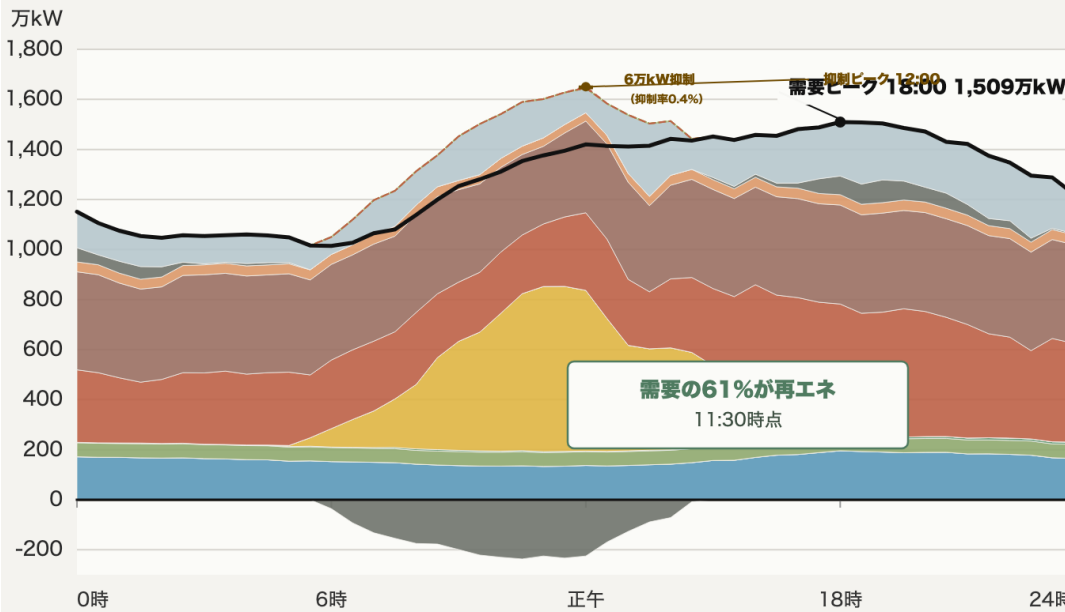
中部エリア

再エネ

95.8GWh

(発電電力量ベース34.0%)

中部エリア 2026年7月12日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比

総発電電力量: 281GWh
(2,814万kWh)

再エネ	95.8GWh (34.0%)
太陽光	42.7GWh (15.2%)
水力	38.7GWh (13.7%)
風力	1.0GWh (0.4%)
バイオマス	13.3GWh (4.7%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	79.8GWh (28.4%)
石炭火力	91.5GWh (32.5%)
石油等火力	9.4GWh (3.3%)
原子力	0.0GWh (0.0%)
揚水・蓄電	4.9GWh (1.7%)

以下は発電構成に含まれない

揚水・蓄電の充電
連系線受電・送電・その他

需要

出力抑制量 0.0GWh

火力 0.0GWh

本来発電可能量の0.0%

抑制率=出力抑制量/(発電量+出力抑制量)

出力抑制量: 出力抑制により発電しなかった量

出典: 中部電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ (2026年7月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

281.4GWh

需要ピーク

18:00、1,509万kW

連系線・その他

39.9GWhの受電

揚水・蓄電の充電

14.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

中部は、太陽光ピーク660万kW、風力ピーク9万kWで、時間別の再エネ最大需要比は61.9%だった。



2026年7月12日の供給実績

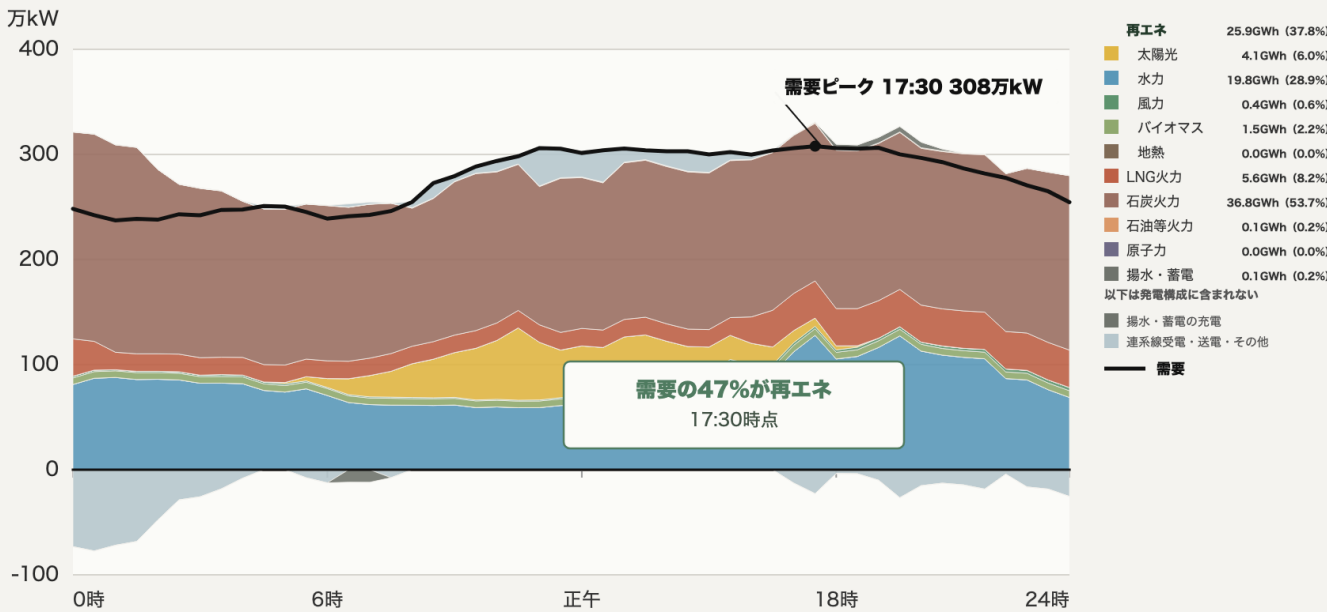
北陸エリア

再エネ

25.9GWh

(発電電力量ベース37.8%)

北陸エリア 2026年7月12日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北陸電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年7月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

68.5GWh

需要ピーク

17:30、308万kW

連系線・その他

3.3GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.1GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

北陸は、太陽光ピーク69万kW、風力ピーク3万kWで、時間別の再エネ最大需要比は46.9%だった。



2026年7月12日の供給実績

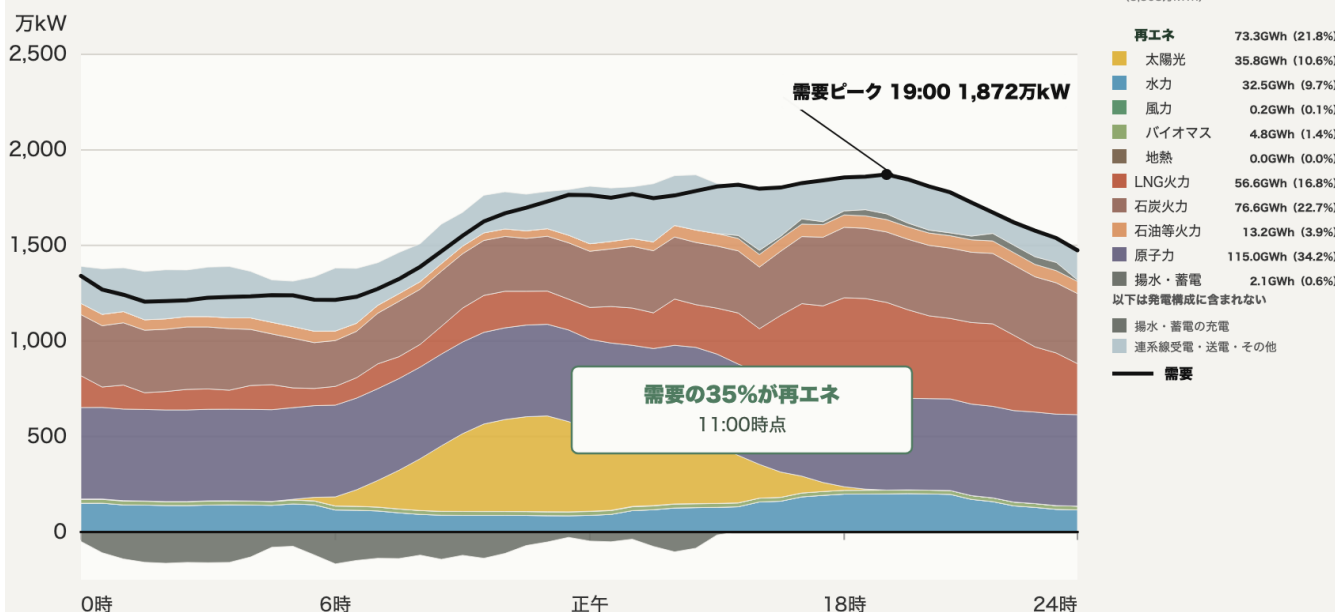
関西エリア

再エネ

73.3GWh

(発電電力量ベース21.8%)

関西エリア 2026年7月12日の供給実績（残余需要方式）



出典: 関西電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年7月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

336.8GWh

需要ピーク

19:00、1,872万kW

連系線・その他

54.2GWhの受電

揚水・蓄電の充電

16.4GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

関西は、太陽光ピーク501万kW、風力ピーク2万kWで、時間別の再エネ最大需要比は35.6%だった。



2026年7月12日の供給実績

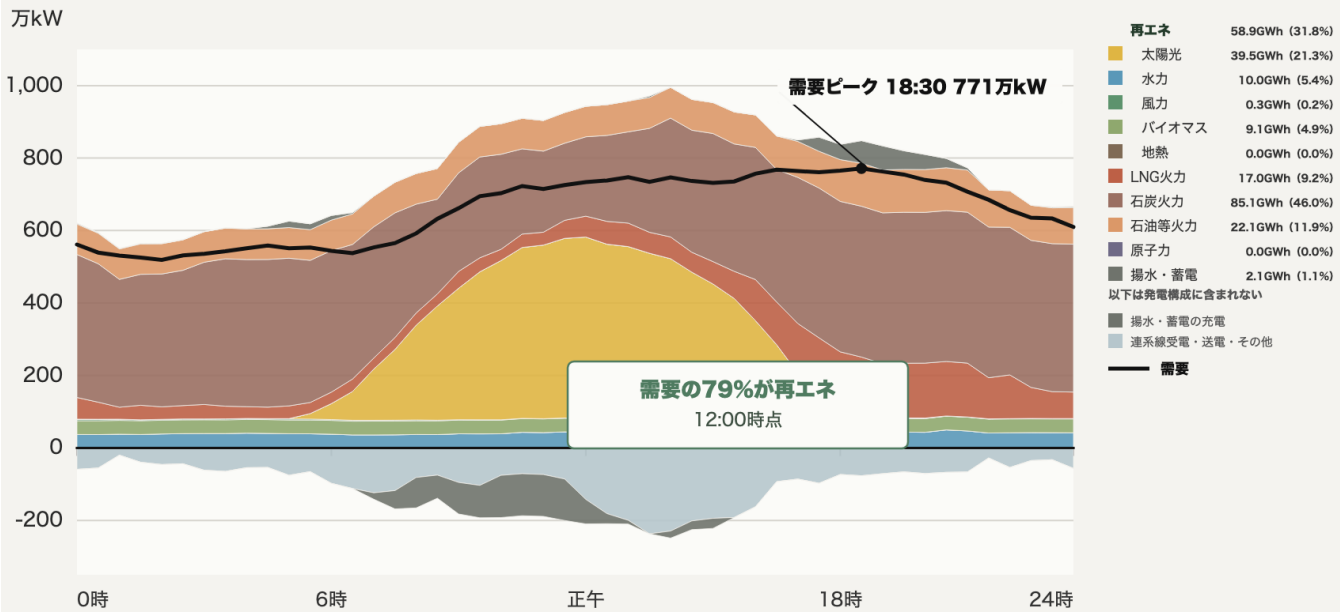
中国エリア

再エネ

58.9GWh

(発電電力量ベース31.8%)

中国エリア 2026年7月12日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中国電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年7月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

185.2GWh

需要ピーク

18:30、771万kW

連系線・その他

22.3GWhの送電

揚水・蓄電の充電

5.2GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

中国は、太陽光ピーク501万kW、風力ピーク4万kWで、時間別の再エネ最大需要比は79.7%だった。



2026年7月12日の供給実績

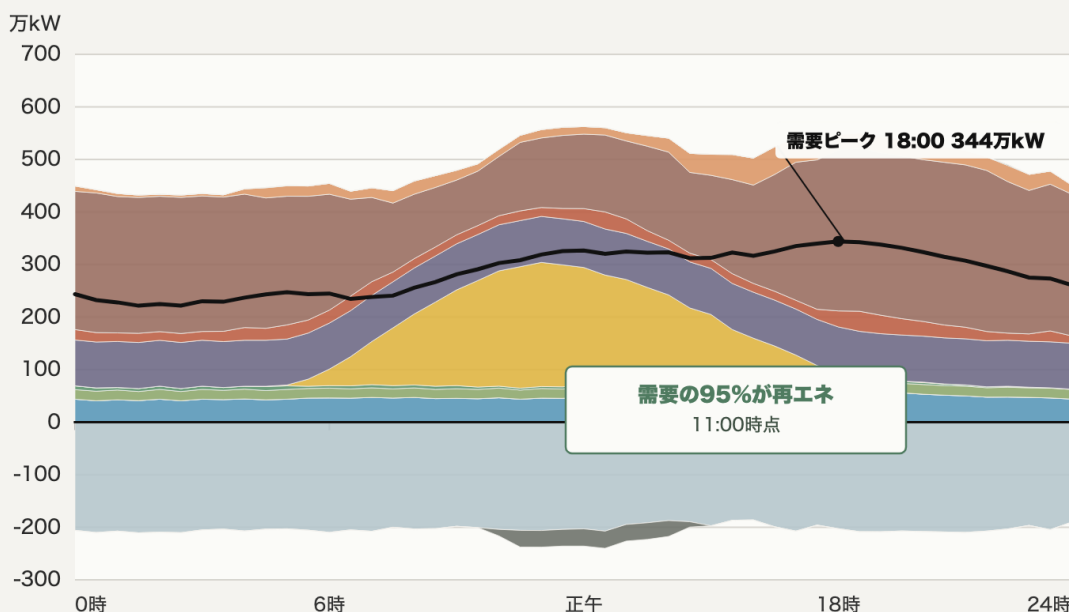
四国エリア

再エネ

34.5GWh

(発電電力量ベース29.1%)

四国エリア 2026年7月12日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比

総発電電力量: 118GWh
(1,185万kWh)

再エネ	34.5GWh (29.1%)
太陽光	17.9GWh (15.1%)
水力	11.2GWh (9.4%)
風力	1.0GWh (0.8%)
バイオマス	4.4GWh (3.7%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	5.1GWh (4.3%)
石炭火力	52.5GWh (44.3%)
石油等火力	5.3GWh (4.5%)
原子力	21.0GWh (17.7%)
揚水・蓄電	0.0GWh (0.0%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	

出典: 四国電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年7月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

118.5GWh

需要ピーク

18:00、344万kW

連系線・その他

48.6GWhの送電

揚水・蓄電の充電

1.4GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

四国は、太陽光ピーク236万kW、風力ピーク8万kWで、時間別の再エネ最大需要比は96.0%だった。



2026年7月12日の供給実績

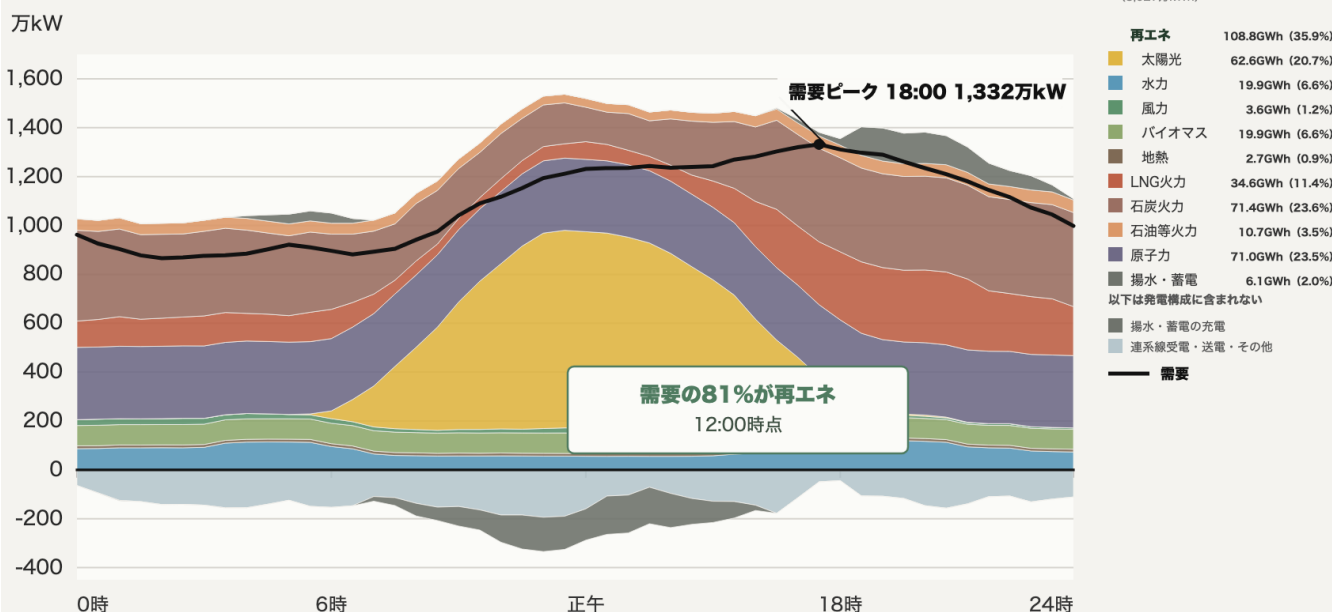
九州エリア

再エネ

108.8GWh

(発電電力量ベース35.9%)

九州エリア 2026年7月12日の供給実績（残余需要方式）



出典: 九州電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年7月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

302.7GWh

需要ピーク

18:00、1,332万kW

連系線・その他

31.2GWhの送電

揚水・蓄電の充電

9.3GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

九州は、太陽光ピーク808万kW、風力ピーク25万kWで、時間別の再エネ最大需要比は81.1%だった。



2026年7月12日の供給実績

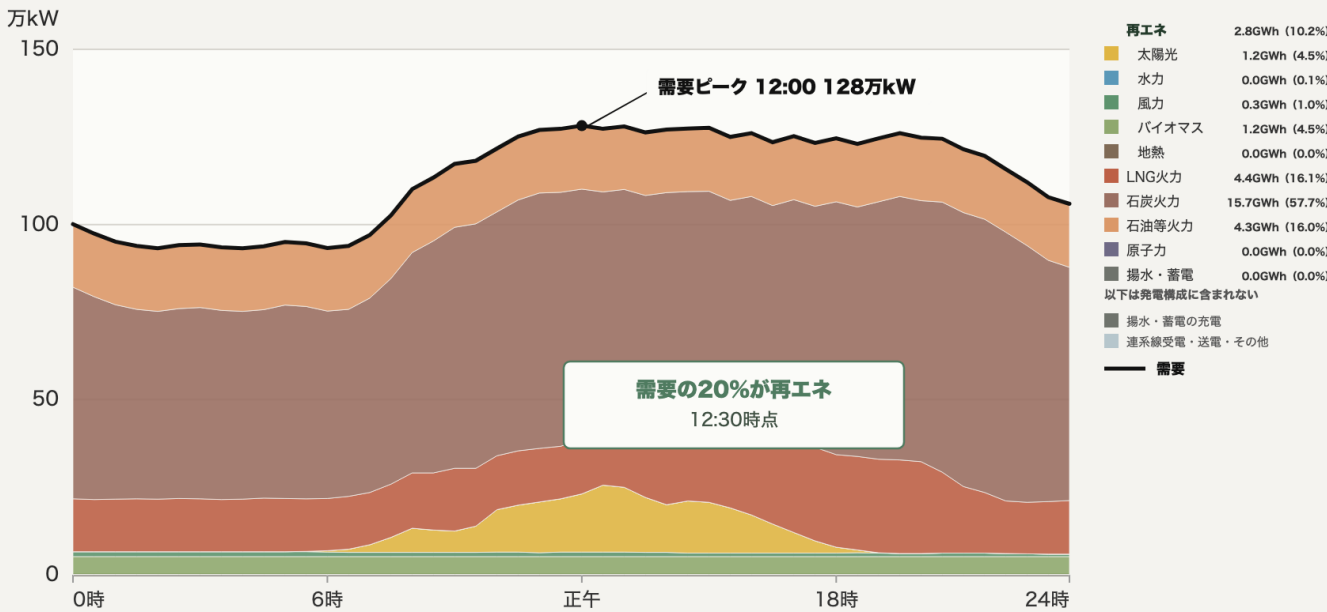
沖縄エリア

再エネ

2.8GWh

(発電電力量ベース10.2%)

沖縄エリア 2026年7月12日の供給実績（残余需要方式）



出典: 沖縄電力公表のエリア需給実績データ（2026年7月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

27.1GWh

需要ピーク

12:00、128万kW

連系線・その他

0.0GWh

揚水・蓄電の充電

0.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

沖縄は、太陽光ピーク19万kW、風力ピーク1万kWで、時間別の再エネ最大需要比は20.1%だった。